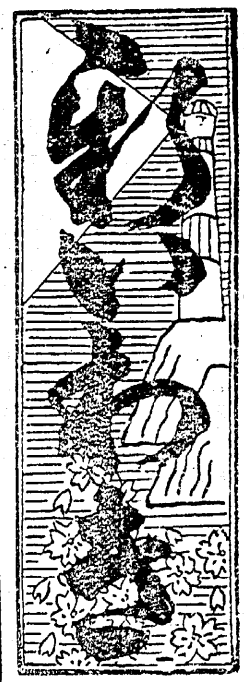
一月二十七日 夕刊



日刊倶シ日曜祭日除日休刊一ヶ月廿五錢
側面十五錢一部二錢
廣告料 一行四十錢
場所指定 二十錢增
發行兼編輯印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平町大町二三
新いわき新聞社

平商業學校の位置愈よ南裏に決定す

新豫算町會の本議にかけて縣の承認と本省の指定

平商業學校の移轉改築は位置の選定に關して昨年來調査委員に審議を重ねてゐたが昨二十六日午後三時から町役場に開かれた同委員會に於て愈よ決定した右の敷地は町内字北目と第四小學校を建設する南裏及び鯉田山の三個所を上げられてゐるが諸種の條件から鯉田山を除き殘る二個所を比較檢討の結果委員會の滿場一致で南裏に決したもので今二十七日の町會に報告され新豫算町會に於て附議決定の筈であるが第四校敷地買收の際既に購入濟となつてゐる一萬八千坪を折半して九千坪を學校基本財産にしたる同面積を轉用するもので縣の承認を經たる後文部大臣の指定を受ることになつてゐるが殘る問題は磐城炭礦の動力電柱移轉だけとなつたが之も近く解決の模樣であるから明年度早々着工の運びを見られるであらう

豫定額に今一と息今日三萬圓の採納

平町公會堂建設寄附好成績取敢ず五萬圓の起債手續

今二十七日の平町會は既報の如く公會堂建設費寄附の採納及び南白銀町水管置場建設寄附採納並びに消防組から推薦する警備委員の三案で午後一時から開會されたが警備委員は鈴木長三郎、酒井清兩氏の再任と鈴木彌太郎氏の新任に決し水管置場の採納は勿論異議ある筈でなく公會堂の建設寄附は町議全員の奔走によつて決定したるもの町内では一千圓以上諸橋久太郎、鈴木新右工門、百澤商店、酒井秀次郎の諸氏で合計三萬圓の採納を決し豫定額の四萬圓には尚ほ一と息と云ふまでに漕ぎつけたが殘る一萬圓を内算して取敢ずず五萬圓の起債認可を受くべく手續を取る事になつた

鮫川水利工事を視察

石城郡鮫川江筋組合では來る三十一日午前九時半目下工事中の同郡上遠野村瀧地内鮫川本流横斷のサイホン口事場石田組小田島事務所に集合し管理者富澤事務官及び組合議員二十三名その他全線に亘る工事狀況の視察をなす筈だが當日雨天の場合は中止追つて視察期日を決定すると

縣穀檢平支所の牛産檢査既に六萬八千俵

特定を合せる農倉の入庫米概算して九萬六百俵

石城郡の産米は俵米檢査の施行後年と共に改良向上を促し受檢もまた普及されて昨年の牛産檢査十萬二百俵(全年度)に對する本年の成績は昨年四月以降去る二十日迄に於て六萬八千俵に達し來る三月末日までには七萬五千俵に上るものと見込まれてゐるが一方郡販聯の賣米統制がまた大なる効果をもたらし各農倉の入庫米は今二十七日現在の概算で九萬六百俵この外主なる地主倉庫の藏米は平町釜屋商店の二千七百俵を筆頭に次は泉村の江尻博孝氏の二千三百その他大体六千百俵と想算されてゐる

常識講座

アプレシエーションは評價、鑑賞又は感賞、讃許或は會得、洞察の意だ、アプレシエートは評價する鑑識する感賞する會得洞察することを指しアブノーマルなら異常のと云ふ意

平で酒値上げ

各等十錢づゝ

平酒類商組合では原料米の高騰ゝ醸造石類の制限による酒價高を理由とし二月一日から各等につき金十錢づゝを値上げ左記改正値段にしたが優等酒は此の限りでないと

一等酒一升一圓六十錢 二等一圓十錢 三等一圓十錢 新式燒酎(三十度もの)一升一圓二十錢

平町と平窪の合併

總務部長等の斡旋

村有林三百五十町歩につき今日平町で善處の懇談

平町の市制施行で合併を交渉中である平窪村は大勢既に合併の意向と見られてゐるが一部反對者が苦情の材とせる村有林野三百五十町歩の處分について行き惱みつゝあるため豫ねて兩者の合併を慫慂する縣當局では此の善處策に力をかし昨二十六日夕來郡湯本町松泊館に宿泊したる出石總務部長、東郷地方課長、今二十七日午後一時來着の孕石山林課長等により午後二時過ぎから平町に於て平窪側の草野村長並びに村會議員その他と會し懇談するところあつたが此の爲め平窪村の反對側にも相當の諒解を得られた模樣であつて接近の歩は漸次近づいて來てゐると

平驛前に直通する南町と大町の貫通路

四區長の努力で地元の寄附一千七百圓まで漕つく

平町が新街路開設を計畫する字南町から大町に通ずる南町星眼科醫院脇の新道は三、四丁目及び南町、大町四區長に於て地元寄附二千圓を引受け關係者から之れを仰ぐべく奔走中であつたが最近までに一千五百圓を得たので殘る五百圓に苦心してゐたところ大町通りに二千餘坪の邸宅敷地を購入せる町出身の特産家三井榮一氏から二百圓の寄附があつたので不足するもの僅かに三百圓となり明十二年度に施行開設を熱望する地元では新豫算編成に間に合ふやう右の募集に躍起となつてゐる

平管署下に於ける火災損害一萬四千六十四圓

縣下一は二本松の九萬余圓

平署管下に於ける昨年一月から十二月に至る火災損害は一萬四千六十四圓九十錢で發火度數は左記の如く十七回を算してゐるが縣下に於ける同期の損害は三百五十四萬六千八百八十六圓五十八錢との發火回數二百九十六で原因は

弄火九三回 爐火二五 炬燵二三 取灰二二

が主なるもので前年は弄火四八、取灰三四、爐火三五、浴場二一等を多いものとし損害總額六十五萬一千二百五十六圓七十錢に止まり十一年の最高損害は十月中織物會社を燒失した損害七萬圓と三月に澁川小學校を全燒せる損害一万圓を見たる二本松署管下の九万三千六百六十圓である

平署管下の原因別弄火一

提灯一 取灰二 竈一 暖爐一 蠟燭二 煙筒一 漏電一 洋燈一 炬燵二 共の他三 不明一(以上)

石城の米の包裝本縣下で最劣等

縣島縣は關東北陸で最劣等其中で惡い濱通の第一

縣穀檢平支所では此の程檢査事務研究會を開き檢査改良指導のため大要左の如き指導印刷物を石城郡下各生産者に配付することになつたが尚ほ年中行事に穀物の改良指導期間を毎年二月十六日から二十五日に至る十日間(本年の當日は舊正月六日から十五日)講演講話等により生産者に對して一齊指導を行ふと

本年以降の小麥と菜種は强制檢査(山前、箕輪、永戸三坂、澤渡、入遠野、上遠野、田人、石住、荷路夫、貝泊各村を除く)となり生産檢査を受けざれば賣買出來ぬ事となり之れに反する者は罰せられる

目下政府は穀物檢査を國營に移管統制すべく十二年度豫算案に計上し議會の協賛を經れば如何なる機構形態によるかは未知數だが本年中には實施されることになるであらう

包裝は關東北陸に於て最劣等なのが本縣で縣内の最劣等は濱通りである而して濱三郡中の最劣等は石城郡の現狀である此の改善に生産者の自覺奮起を望む

包裝には其の年の見込俵數(米及び麥)は全部冬期間に作つて置くこと、優良地は大抵前年冬の農閑期に夜業で整へる、石城郡も左樣にしたい等々(以上)

營林署長會議

濱通りの營林署長會議は來る六月五日石城郡植田町の公會堂に於て開催されると

妻から捜索願

石城郡箕輪村の利根木健利(三三)は稼職二十一日無斷で出暖を取りながら寢に就き炭酸瓦斯のため窒息死亡し居るを發見されて即日平署の檢視を受けた

青沼町長上京

平町長青沼鋒太郎氏は全國町村長大會に出席の爲め明二十八日上京の筈であるが別項所報の公會堂建設に要する五万圓の起債に關し主務省の諒解を受くるものゝ如くである

船室で窒息死

江名町の漁夫

石城郡江名町の折戸字岸浦漁業家吉田豐太郎所有漁船福田丸の乘込み漁夫小名濱町生れ小野喜一郎(三三)は去る二十五日午後一時頃同港に繫留の同船室を密閉なし炭火を焚いてたまゝ行方不明となつたが郡内好間村方面に居るらしいと今二十七日内線妻梅原ひろから平署に捜索方を願出た

平驛で入替貨車の爲一手傷死

平保線區の線路工手石城郡山田村の大林生れ下山田横(四一)は昨二十六日午後四時半頃平驛構内西部の線路に作業中背後から來た入替貨車のため突き倒されて重傷し直ちに應急手當を加へたが同五時遂に絶命した尚ほ同所は昨年年若い機關庫々内手が同じく入替え車で轢死したところで魔の線路と云はれてゐる

青果市況

平中央青果市場調(厘單位)

	高値	安値
葱(貫)	一五〇	一五〇
油菜(百把)	五〇〇	四〇〇
人參(貫)	一六〇	一四〇
牛蒡(貫)	二二〇	一〇〇
千太根(十本)	四〇〇	三五〇
丸大根(十本)	三五〇	二五〇
里芋(貫)	二八〇	二二〇
蓬莱草(十把)	八五	八〇

今晩は北西の風、曇(後晴)
明日は北の風、曇(後晴)
(小名濱測候所)

御誂の好製品
高屋洋服店
平三三三三六

桃の栽培（八）

縣農試石城分場長　齋藤技師

それは早生種と反對に南の暖地を市場とする場合である桃は暖地ほど成熟期早く從つて收穫の終了することの早いのも當然である、この時期を目がけて晩生種の暖地進出の可能性は相當に多いやうに思はれる、この場合は外觀、品質共に優良な品種でなければならないことは勿論である、

外觀の點からは一般に大形にして果形整且つ色澤の優美なことが必要である、

品質の點からは甘味濃厚にして且つ日持ちのよいことが望ましい、

尙ほ品種の選擇にあたつては樹勢強健にして農産なものに着目すべきことは勿論のことであらう、

現在石城分場に栽培してゐるものを擧ぐれば次の通りである、

魁（始花四月二十五日　滿開九月二日　終花九月十三日　袋掛二百二十　採取期七月五…十四日　收量・七三個　四貫四百五十匁　一個平均二十五匁八　收穫步合七八・六　樹齡十三年）

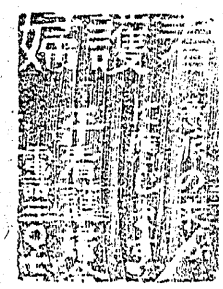
マムスランジュン（始花四月二十五日　滿開五月二日　終花九月十六日　袋掛三百三十九　採取期七月十四…二十日　收量二百五十四個七貫二百三十一匁　一個平均二十八匁七　收穫步合七四・三　樹齡十三年）

岡山六號（始花四月二十一日　滿開四月二十七日　終花五日五日　袋掛百〇五個　採取期七月十五…十八日　收量九十六個　二貫二百三十二匁　一個平均二十三匁三　收穫步合九一・四　樹齡三年）

油問屋
關内油店
電話長16　平城磐

ガソリン
モビール油
日本石油株式會社
特約販賣

支郡山市驛前通店
電話長三二八
支店茨城縣岡本驛前
電話長平濱七三
油槽出張所平町四丁目郵便局前



お醬油は……ヤマフル
醬油　味噌　たひら正宗　鰹節食料品
鹽屋
山崎合名會社
電話　營業部　本店　一七〇番
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
（血液檢査毎日）
イツデモ入院デキマス
平町新川町二七（電四六四）
醫學博士　北川芳夫
技師　小林良次

專門
皮膚科　泌尿器科　性病科
診療時間　午前八時より午後九時まで
開院
江尻醫院
醫學博士　江尻伊三郎
平町田町（舊山内醫院跡）電話六九一番

入院隨時
内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

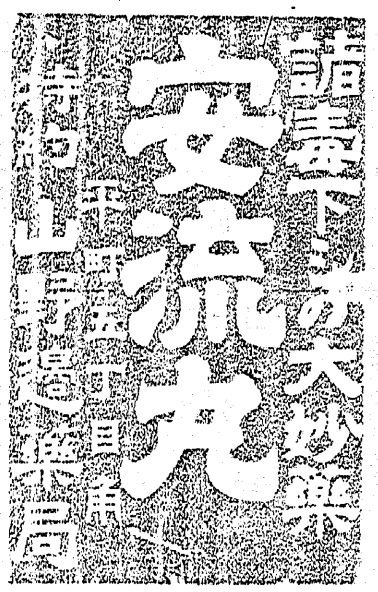
最も有利な利殖法
（營業科目）
一、債券賣買　時下相場により御相談に應じます
一、擔保貸付　最も安いもので八掛迄御貸付致します
一、福利貸付　各諸券による年一割賃付配當仮諸付（年四朱）
一、當籤の無料調査　同別と番號を御知らせ下されば調査の上御報知申上げます。
平町仲間町（申込次第詳報呈上）
横山商店債券部
電話二七一番
拂替東京九〇六一〇

和洋銅鐵、金物問屋
火
金屋商店
電九九・九九

電話3番
モーター付九ミリ半が
39圓で買へる
ポニーモーター附撮影機
F 3·5　¥ 3900
F 2·9　¥ 5800
お電話下されば機械持參
店員が説明申上ます
平2　西村屋藥局

入院隨時、手術室完備
産科　婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
平町新川町『電話三六九番』

物價暴騰の折なれど！
◆弊店特選婦人ショール◆
大見切大サービス！
友仙地　1·70＝2·00
モーレー地　2·00　均一
コーラス地　1·50＝6·00
コーケツ地　1·80＝3·00
ベルベット地　4·00＝11·00
（市價よりも二割以上三割の安値）
にツルヤ（平四　電一四〇）



入院應需（自炊の便あり）
明雲堂眼科醫院（電話六六九）
田町（平三丁目裏川岸通）
『看護見習募集』

債券高價買入
平田町（役場側）
石川元康